

聴きます その声 伝えます!

日頃よりご支援いただきありがとうございます。市政報告をお送りいたします。

暖冬による早い春の訪れに心躍らせていたのも束の間、九州地方では熊本県・大分県を中心として、最大震度5以上の地震が頻発しています。被災者の方、そのご家族の方、そしてご親戚の皆様の一日も早い復旧と、安全で平穏な日々が訪れる事を心から願っております。

それでは、3月議会での予算に関わる質問内容と市の回答をお伝えいたします。

第370回定例会

地域で支え合う 福祉のまちをつくるために

●認知症高齢者とその家族を守るために

Q. 家族介護支援事業のひとつに、徘徊高齢者家族支援サービス事業がある。認知症高齢者の居場所を早く発見できるように、位置情報提供システムを使ったサービスを利用する際の初期設置料金相当額を支援するものだが、利用数の現状と未然に徘徊を防げた事例があれば教えて下さい。

A. 利用者数は10名程度。位置情報を確認できる装置は手のひらサイズだが、携帯していないければ効果が見込めない。未然に防げた事例は、今のところ無し。名張市には高齢者が行方不明になり、家族から区・自治会長を通じ消防本部へ捜索の依頼があった場合、行方不明者の早期の安全確保のため、区・自治会が市、関係機関及び団体等と連携し、迅速な捜索活動を行う「地域SOSシステム」がある。認知症の方を地域で未然に見守りが出来る制度は、まだ無い。

要望事項

警察に届け出があった認知による行方不明者は、年々増加している。近隣の松阪市では、徘徊者の早期発見・保護するシステム『徘徊SOSネットワークまつさか』(事前に氏名、住所、連絡先、顔写真などを市役所等に届け出をし、光るシールに登録番号を記載し、靴のかかとに貼る。)の取り組みがある。

A. 今後、名張市として研究していく。



●認知症に対する住民理解について

Q. 認知症高齢者見守り事業では、認知症サポーター養成講座を開催しているが、実施回数と参加者数は?

A. 講座実施回数は226回。参加者数は6,175人。実態調査を民生委員に委託している。

要望事項

市内のある地域で、住宅団地内の空き地に頻繁にゴミが捨てられていた。ゴミには携帯電話と下着が入っていた。不自然に思い、空き地の近所を調べたところ、認知症の方が居住していて、ゴミの出し主は、その認知症の方だった。その後もゴミは捨てられているが、近所に方が気付いた時にその家族に連絡することで、大切なものがゴミと一緒に入っていることが無くなかった。同様の事例が今後も発生することが予想されるので、講座の中でも、一例として伝えて欲しい。

●配食サービスについて

Q. サービスの形態には、介護予防・生活支援サービス事業の配食サービス、地域自立生活支援事業の中の配食サービス、社会福祉協議会の地域福祉助成事業の1つ、地域見守り配食事業と様々ある。サービス対象は、65歳以上の単身または高齢者のみの世帯、要支援1、2の方、要介護1~5の方、その他希望者等、区分がいろいろある。市全体としての配食の今後のあり方をどう考えるか?

A. 企業との共存共栄、ボランティアの活用を考えながら、必要な方に必要なサービスが届くように検討していく。

要望事項

高齢者福祉サービスの制度が出来てから15年以上経過した。現在の状況を踏まえた制度の見直しを希望する。



3月1日～3月24日開会
本会議・一般質問より



名張の資源活用と名張ファンを増やすために

●文化振興費の活用について

Q. 文化施設への来館者数と学校などからの見学に来る件数は？ 今後の市としての取り組みは？

A. 夏見廃寺展示館は1,600人、名張藤堂家邸跡が2,964人、郷土資料館へは2,515人の来館。学校からの来館は、郷土資料館に箕曲小学校、錦生赤目小学校。教員研修での参加もある。今後も積極的に学校の授業などで利用を望みたいが、児童の移動手段に工夫が必要である。

Q. 国の特別天然記念物オオサンショウウオ調査業務の委託で、日本の在来種と中国産との交雑種の仕分け、交雑種の保護、名張錦生ふるさとパークでの飼育と展示を行っているが、見学者などの実績と今後の展開は？

A. えさやり体験や講義に保護者を含む81人が参加した。主催は、M I K運動推進委員会（名張市PTA連合会と関係機関が連携し、大人が子どもへ、見て言って聞いての運動をする団体）。今後は、学校からの見学に加え、市民の方が広く見学・触れる機会を作れるように努める。

Q. 名張の良さを市民の方に広く知っていただくための政策は？

A. 現在も、ふるさと学習充実事業として小学3、4年生の社会科の副読本を作成し2年毎に増刷している。また9年間を通して学んでいく、ふるさと学習『なばり学』の推進にも力を入れる。

要望事項

『なばり学』を推進させるための『なばり検定』の実施を望む。検定に向けてのテキストを作る際は、歴史研究会、観光協会、近畿大学工業高等専門学校、名張高校等と連携しながら取り組んでいくことで人材の確保、活用も出来、すそ野を広げていくことにも繋がる。



観光の広域化について

●観光振興対策費の内容と活用について

Q. 平成28年度の観光事業の取り組みと展開は？

A. レンタルサイクルを40台購入。市内の事業所に利用いただけるように要綱等の整備をする。また、サイクリングマップやウォーキングマップの作成、エコツアーや開発にも着手したい。

Q. 東大和西三重観光連盟の今後の取り組みは？

A. 3月27日に開通した赤目の『修驗の道』を活用して、奈良県（宇陀市、曾爾村、御杖村）、三重県（名張市、伊賀市、津市）の連携を強化する。

要望

各地域には「道の駅」がある。そこにそれぞれの物産を置くなどPRできるように協議していただきたい。

Q. ふるさと納税の返礼品に観光商品（例：温泉入浴券、観光体験券等）は考えられないか？

A. 今後も引き続き、観光協会等と連携しながら商品開発をしていく。

要望

他市では、納税の返礼品も多種多様で、金額設定も幅広い。納税しやすい設定を強く要望する。

足立よしえ市政報告会開催のお知らせ



◆5月21日(土)10:30～(開場10:00) 場所：つつじが丘市民センター

◆5月24日(火)19:00～(開場18:30) 場所：梅が丘コミュニティ・プラザ「NAURA(ナウラ)」

◆5月28日(土)10:30～(開場10:00) 場所：すずらん台市民センター
19:00～(開場18:30) 場所：比奈知市民センター



皆様からのご意見、
ご要望をお待ちしています。

足立よしえ

検索

発行：足立よしえ後援会・足立よしえ
住所：名張市つつじが丘北5-83
メールアドレス：zucchan-eve@docomo.ne.jp
電話番号：090-7898-9453(足立直通)
：0595-68-3118(FAX兼用)
ホームページ：<http://www.adachiyoshie.jp>